

# 民俗資料調査カード

通番号 1005 分類番号 280-①

資料名	地方名(カタカナで記入してください) 標準名 ローシメドング ろうしめ名組 <small>之図</small>
寄贈・借用年 月 日	昭和 平成 28 年 月 日
寄贈者	住所 金山町大字八町字居平 番地
所有者	氏名 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
使用年代	明 大 20 年頃から 大 10 年頃まで使用・現在も使用中 昭和
使用目的	蒸した漆の木の粉を入れた袋を名の穴に入れて両側からクサビを差しかけ矢で打ち締めて口をしぼる
収蔵場所	赤平民具館
備考	
調査年月日	平成 3 年 11 月 5 日
調査員	玉梨民具保存会



# その他

製 作 地		<p>(使用方法の写真、または使用方法の説明)</p> <div data-bbox="1294 496 1854 896" data-label="Text"> <p>ろうそくを造る順序</p> <p>一ろうそくの原料となる漆の 実を毎年晩秋の頃木から もぎとります</p> <p>一細い木を編んだニスの上の房 のよこの実をのせて打ち棒で たたく房から粒をとる</p> <p>一粒を臼に入れて杵で搗いて殺 す</p> <p>一殺をとった粒を大きな釜で ふかす</p> <p>一ふかした粒を麻袋に入れて 大きなしゆの明の中央の穴の 中に入れて矢をさし大きな槌</p> </div> <div data-bbox="1294 954 1854 1358" data-label="Text"> <p>でたき、圧縮して汁(ろう)を 出す</p> <p>一次に細い棒に和紙をかき その上に、とうしんをさし、ろ うそくの芯をつくる</p> <p>一その芯に溶かしたろうを ぬりかける(これをしんごと言 う)</p> <p>一適温に溶かしたろう液を器 に入れて芯棒をころがしながら ろうそくの太さをぬりつけ 一出来たらろうそくをカンナで 丸くけずる</p> <p>一溶かしたろうと水で交互にろ うそくにもみつけて艶を出 し芯棒をぬく</p> </div>
製 作 者		
材 料		
製 作 時 期		
購 入 先 ( 購 入 地 )		
年 号 印 書 焼 墨 等	<div data-bbox="835 863 1223 1418" data-label="Text"> <p>ろうそく製造道具</p> <p>当地は昔から漆の産地で漆の実 はろうそくの原料でした。 大正時代までは、ろうそくは大切 な灯として使用され、当地方でも 昭和二十年頃まで製造されてま した。その後、他の製品に変わりました。</p> </div>	